

曲目解説

研究熱心な各校顧問の選曲により、毎回充実したプログラムで注目されているジョイントコンサート。今回も注目作が満載の情熱的なプログラムでお送りします。解説も頑張って書きます。お楽しみに！

各校演奏

●君の瞳に恋してる - フルートとバンドのための - 真島俊夫(編曲)

Can't Take My Eyes Off You

Arr. Toshio Mashima (1949-2016: 日本)

B. クルーとB. ゴーディオによる、1967年リリースの有名な曲。吹奏楽作品の作・編曲で多くの名曲を生み出した故・真島俊夫氏による、フルートが大活躍する爽やかなアレンジ。

●シルヴァ・ニグラ - シュヴァルツヴァルトの情景 - マルクス・ゴッツ

Silva Nigra

Murkus Götz (b.1973:ドイツ)

ドイツの吹奏楽曲は日本での認知度はあまり高くないが、同国で吹奏楽の楽譜を出版しているルンデル社の参考演奏CDは日本で収録されており、優れた曲があると時々話題となる。ゴッツは近年実力を伸ばしている作曲家である。この曲のタイトルはラテン語で「黒い森」という意味で、ドイツ南西部に広がる「シュヴァルツヴァルト」と呼ばれる美しい森や山間地域を示している。霧に包まれた夜明けの情景から、ハイキング、修道院の雰囲気などが描かれている。ラストはスコア解説に「Horse Festival」とあるが、馬のお祭りかな？。2007年作曲。

「GR」よりシンフォニックセレクション(天野正道)については後述

●幻想交響曲より第5楽章「サバトの夜の夢」 ベルリオーズ(編曲:天野正道)

Symphnie Fantastique 5mov.

Louis Hector Berlioz

"Songs d'une nuit de Sabbat"

(1803-1869:フランス)

ベルリオーズが1830年に作曲した有名な管弦楽曲で、当時としては革新的な技法が盛り込まれている。それは、1：標題により曲の内容が説明された標題音楽、情景描写的な音楽であること、2：主人公の恋人を象徴するメロディ(固定楽想)を各楽章で登場させていること。これらは現代では普通に使われている技法だが、初めて使われたのが本作である。この作品は失恋による絶望から服毒自殺を図った若い音楽家の幻想と夢の描写で、第1楽章では可憐だった恋人のメロディが、この第5楽章(終楽章)「サバトの夢」では、魔女のメロディに変化し、さらには地獄の鐘が鳴り響くといった終末観漂う曲となる。天野正道編曲、2006年出版。

●三日月に架かるヤコブのはしご 真島敏夫

Jacob's Ladder to a Cresecent

Toshio Mashima (1949-2016:日本)

関西学院大学応援団総部吹奏楽団の依頼により、同大学のシンボル(校章)である三日月に着想を得て作曲された。旧約聖書の「ヤコブのはしご」…ヤコブが夢で見た、天使たちが昇降する天まで届くはしご…を、彼方に美しく光る三日月の端に引っかけて、その高さに到達したという憧憬が描かれている。旧約聖書中の「ヤコブ」の物語の説明は割愛するが、ヤコブの運命、月への憧れ、三日月に架かる「はしご」などが描かれた序曲風の曲である。1993年作曲。

●ディオニソスの祭り

Dionysiaques

フローラン・シュミット

Florent Schmitt (1870-1958:フランス)

ギリシャ神話の酒の神ディオニソス(別名:バックス)を描いた傑作。酒の神と言うことは陶酔や狂乱を司る神でもあると言えよう。曲は神秘的な雰囲気始まり、興奮の宴へと変化していく。世界最高峰のパリ・ギャルド吹奏楽団のために書かれた曲で、高度な演奏技術を要求される難曲である。この曲が作られた20世紀初頭は、まだ吹奏楽曲はほとんど存在せず、吹奏楽黎明期の傑作と言えよう。その後の吹奏楽曲にも、大きな影響を与えた。1913年作曲。

●ジャイアントロボ(GR)の音楽

Giant Robo

天野正道

Masamichi Amano (b.1957:日本)

「ジャイアントロボ」は横山光輝原作のロボットSF漫画である。1968年に実写でTVドラマ化されて話題となったが、物語を発展させたビデオアニメ(OVA)も、1992年から7年間で全7話制作された。このアニメ音楽を担当したのが天野正道氏である。天野氏は海外でも活躍する作曲家で、このアニメ音楽もワルシャワ・フィルハーモニー管弦楽団のフルオーケストラで収録したという力の入れようである。各場面に合わせて多数の曲が作られ、後年、これらを抜粋編集した組曲的な作品も複数作られた。そんな訳で、同じ「GR」でも、全く内容が異なる曲が存在することになる。

●「GR」よりシンフォニック・セレクション *GR Selection pour l'orchestre de vent*

「GR」の説明や、作曲者紹介は上記参照のこと。2001年、このバージョンの初演を行った浜松交響吹奏楽団指揮者、浅田氏が抜粋・編集したアイデアをもとに天野氏が編曲した作品。

●「ジャイアント・ロボ」組曲

Giant Robo

そのままズバリなタイトルだが、この「GR」は、今から十数年前に出版された教育目的の吹奏楽曲集「アレグロ1」に収録されたバージョン。単体では購入出来ず、しかも現在は絶版のためレアな存在である。内容的には吹奏楽でも人気の高い交響組曲第2番「GR」と同じであるが、中編成でも演奏可能なようにパートが整理されている(はず)。ファンファーレに始まり、戦争の悲しみや怒り、平和への賛美などが情感豊かに描かれ。最後は感動的に閉じる。

●オープニング・ファンファーレ

Opening Fanfare

長谷川清乃(千葉県立浦安高校教諭)

Kiyono Hasegawa

前回のジョイントでも演奏された曲ですが、今回は改作された新バージョンで演奏します!

●トゥーランドット

Turandot - A Selection from the Opera

プッチーニ(編曲:後藤洋)

Giacomo Puccini (1858-1924:イタリア)

トゥーランドットはイタリアの劇作家ゴッツィが1762年に書いた戯曲。舞台は中国。氷のように冷たい心を持つトゥーランドット姫が求婚者に3つの謎を解くことを求め、出来ない者の首をはねてしまう。その中で、王子カラフが見事に謎を解き、姫の心を開く…と言った内容である。プッチーニは数々のオペラの名作を遺したが、生前最後に取り組んだのが本作であった。しかし、1924年に他界し、未完のオペラとなった。それを友人のアルファードが補筆し、1926年に完成して初演が行なわれた。今回は後藤洋編曲版を演奏する。2006年出版。

- | | |
|-------------------------|-----------------------|
| 1. 序奏-「北京の民よ」 (第1幕) | 5. 「世界のすみずみから」 (第2幕) |
| 2. 「砥石よ回れ」 (第1幕) | 6. 「われらが皇帝陛下万歳」 (第3幕) |
| 3. 「だれも寝てはならぬ」 (第3幕) | 7. 「おお神聖なる父君陛下よ」 |
| 4. 「私の勝利が」(第3の問い) (第2幕) | -フィナーレ (第3幕) |